

領 収 証 No 029738

小暮ひろし 様

領収金額 ¥19,000-

| | | |
|-----|--------|---|
| 現金 | 19,000 | 円 |
| 小切手 | | 円 |
| 振込 | | 円 |
| 手形 | | 円 |
| | | 円 |

上記の通り領収致しました

28年 7月 19日

収 入
印 紙



やじま印刷株式会社
〒327-0003 栃木県佐野市大橋町1105
TEL (0283) 24-6428(代)
FAX (0283) 24-7247

小暮ひろし市議会報告(第29号)印刷代として

領 収 書

平成28年8月4日

小暮 博志 議員

金額 (消費税込) 910円

第1回佐野市議会議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。
(平成28年5月15日報告会開催)

佐野市議会報告会運営委員長 飯田 昌弘



※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

領 収 書 (Receipt)

発行日 2016年 9月 7日

お客さま氏名 (Customer)
小暮博志

様

右記、金額を 2016年 8月 22日付けで
口座振替により領収致しました。

| | |
|----------------------------------|------------------------------------|
| ご請求番号 (Billing ID) | 070030-1001323-00 |
| ご請求の内訳 (Billing Details) | 2016/07/01~2016/07/31 料金後納ご利 用額 |
| 領収金額 (Amount Paid) (うち消費税相当額) | 108,624 円 8,046 円 |
| 金融機関 | 郵便貯金 本店 |

日本郵便株式会社

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

領 収 証

№ 026334

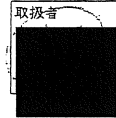
小暮 さん 様

領収金額 ¥19,000-

上記の通り領収致しました

2016年10月21日

収 入
印 紙



やじま印刷株式会社

〒327-0003 栃木県佐野市大橋町1-05

TEL (0283) 22-3423 (代)

FAX (0283) 24-7247

議会報告書印刷代

領収書 (Receipt)

発行日 2017年 1月10日

お客さま氏名 (Customer)
小暮博志

様

右記、金額を 2016年 12月 20日付けで
口座振替により領収致しました。

| | |
|----------------------------------|------------------------------------|
| ご請求番号 (Billing ID) | 070030-1002674-00 |
| ご請求の内訳 (Billing Details) | 2016/11/01~2016/11/30 料金後納ご利 用額 |
| 領収金額 (Amount Paid) (うち消費税相当額) | 108,872 円 8,064 円 |
| 金融機関 | 郵便貯金 本店 |



印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済



住みよい佐野市をめざして

小暮ひろし市議会報告 (第30号)

市議会議員 小暮 博志
佐野市馬門町1597
TEL・FAX (23)8263
携 帯 090-2679-3021
kogure-hiroshi.com

第30号の
主な記事

・第3回佐野市議会定例会(9月2日～26日) (E-mail:kogurehi@sctv.jp)
** 決算審査の他市状況調査 **

第3回 佐野市議会定例会(9月2日～26日)

平成28年の第3回定例議会では、意見書案1件、議員案1件、報告5件、議案32件、陳情1件が審議。

次に、主な内容を報告します。

- (1) 意見書案第1号、議員案第1号について
- (2) 平成27年度 決算の認定
- (3) 平成28年度 補正予算
- (4) 陳情1件
- (5) 一般質問関係

(1) 意見書案第1号、議員案第1号 について

* 意見書案第1号：川の日を国民の祝日に定めることを求める意見書について

(内容) 身近な川と遊び親しみ、自然の大切さを学び、川の恩恵に感謝する記念日(案:7月7日)として、「川の日」を国民の祝日に定めることを求めるもので、全員賛成で政府に提出。

* 議員案第1号：佐野市議会議員定数条例の改正について
(内容) 佐野市議会議員定数条例の定数26人を24人に改めるもので、賛成多数(賛成23人、反対2人)で可決。この改正の目指す所は、定数減と報酬増による、若い議員の進出です。以下、経過です。

- ・ 議員で構成する佐野市議会議員定数等検討委員会を設置し、6回にわたり、定数等を検討。
- ・ 本市と人口規模や産業構造の近い市議会との比較検討を行い、定数を決定。

(人口10万人～20万人の市における、議員数と報酬の関係を、小暮ひろしホームページに示す。)

☆☆☆☆☆☆☆☆



●側溝の堀浚い実施

- ・市道59号線北側(約100m)
- ・関係者との共同作業

(2) 平成27年度 決算の認定

決算審査特別委員会が、27名の議員により4日間行われました。収支状況は以下の表1のごとくでした。

一般会計の歳入額は547億7,800万円となり、昨年を抜き、過去最大となりました。歳入歳出差は27億6,000万円の黒字ですが、繰越金と基金の入出を考慮した実質単年度収支は12億2,900万円の赤字でした。

ここで、積立金総額約89億円、地方債総額約410億円となっていますが、実質公債費比率4.8%、将来負担比率10.2%であり、危険と判断される各々の25%と350%より大幅に小さく、健全な財政状況でした。

表1 平成27年度 一般・特別・事業会計 (百万円)

| 会 計 | | 歳 入 | 歳入歳出差 | 一般会より |
|------------------|-------------|--------|---------|-------|
| 一 般 会 計 | | 54,778 | 2,760 | 0 |
| 特 別 会 計 | 国民健康保険 (事業) | 16,768 | 1,039 | 1,044 |
| | 国民健康保険 (直営) | 275 | 195 | 44 |
| | 公共下水道 | 3,400 | 195 | 1,221 |
| | 農業集落排水 | 175 | 15 | 122 |
| | 自家用有償バス | 173 | 0 | 119 |
| | 介護保険 (保健) | 10,390 | 234 | 1,515 |
| | 介護保険 (介護) | 65 | 0 | 65 |
| | 後期高齢者 | 1,213 | 0 | 351 |
| | 佐野田沼産業団地 | 447 | 0 | 218 |
| 西浦・黒袴産業団地 | 143 | 0 | 0 | |
| (小 計) | | 33,050 | 1,679 | 4,701 |
| 合 計 | | 87,828 | 4,439 | 4,701 |
| 水道事業会計 | 収益的 | 2,418 | 409 | 28 |
| | 資本的 | 722 | △ 1,091 | 62 |
| 病院事業会計 | 収益的 | 1,010 | 1 | 712 |
| | 資本的 | 143 | △ 97 | 95 |

一般会計の中で、約5億円をこす事業として、

- 新庁舎建設事業費 54.0 億円
- ・ 児童手当支給事業費 18.8 億円
- ・ 生活保護扶養費給付事業費 18.4 億円
- ・ 介護給付事業費 15.4 億円
- ・ 中小企業融資預託事業関係 11.2 億円

- 消防本部庁舎建設事業費 10.5 億円
 - ・ 保育所運営入所委託事業費 8.2 億円
 - ・ みかもグリーンセンターごみ焼却業務委託 6.8 億円
 - 消防デジタル無線等整備事業費 5.7 億円
 - ・ 保育所運営事業費 5.1 億円
 - ・ 児童扶養手当支給事業費 4.4 億円
 - ・ 市債償還元金 49.8 億円
- 等があります。(○印は、本年度だけの支出です。)

又、特別会計の国民健康保険(事業)、公共下水道や介護保険(保険)には、10億円以上の大きなお金が一般会計から出ております。ここで、国民健康保険(事業)の繰越金が約10.4億円ありますが、前年の繰越金があったため、実質単年度収支額は約0.9億円です。

農業集落排水と自家用有償バスの歳入の約70%が一般会計からの支出となっております。(市民負担が大きい。)

以上の、平成27年度決算は、賛成多数で承認。

決算特別委員会として、10項目からなる決算審査要望書をまとめ、市長に提出。要点を、以下に示します。(詳細:小暮ひろしホームページ)

政友みらい(議員数8名)を代表し、私(小暮ひろし)が賛成討論を実施。(詳細:小暮ひろしホームページ)



賛成討論

(決算審査要望書)の要点

1. 第3次行政改革大綱に掲げた行政改革の推進
2. 「佐野市まち・ひと・しごと創成総合戦略」の推進
3. 市有施設適正配置計画の策定、推進
4. 迅速な災害警戒本部の設置と対応
5. 柔軟かつ迅速な保育環境の整備
6. 佐野市人口ビジョンの人口目標の実現
7. まちづくり株式会社との連携による人口増
8. 小中一貫校、児童生徒の体力・学力向上、施設の老朽化対策の推進
9. 国民健康保険事業の財政運営(健康寿命の延伸、ジェネリック医薬品の促進、徴収率向上の実施)
10. 水道事業の公営企業会計への移行

(3)平成28年度 補正予算

(一般会計関係) 平成27年度の繰越金として20億円増が確定したので、平成28年度予算に繰入れが行われ、財政調整基金積立金と公共施設整備基金積立金に合計15.5億円が積立てられる等の補正がなされました。

(病院事業会計関係) 平成27年度には、病院の指定管理者(青葉会)に4億円を交付していましたが、余剰金が約2.4億円できたため返還されました。これが平成28年度の特別利益となり、一般会計に戻されました。

病院事業に改善が見られ、指定管理者への実際の交付金は、平成25年3.6億円、平成26年度2.6億円、平成27年度1.6億円でした。

(4)陳情関係

陳情第1号 川の日を国民の祝日に定めることを求める意見書に関する陳情。(政府に提出する。)

(5)一般質問関係

蓼沼議員の一般質問で、骨髄バンクに対する支援等の考えに関する質疑がありました。

(健康医療部長のと答弁) 骨髄提供者の方に、何らかの支援が必要ではないかということで、昨年6月議会で小暮議員から一般質問をいただきましたので、その後、ドナー提供者への助成制度を検討してきました。今、検討をしているところです、との答弁あり。

**** 決算審査の他市状況調査 ****

現在、予算・決算の審査のために特別委員会を立ち上げ、部課長全員参加のもと合計8日間の質疑をし、議案の賛否が行われています。足利市を除く佐野市を含めた両毛6市も同じような審査方式を取っている。

一方、人口の大きな宇都宮市、小山市、栃木市や足利市等では、常任委員会や款別審査方式を取り入れ、審査している。

これら、審査方式の特徴を表2に示します。

常任委員会や款別審査方式にする主な理由は、④質問内容が深くなる、⑤職員の負担が軽くなることと思います。

因みに、全員参加による予算・決算審査方式に要する職員の時間と費用は、約6,700時間で約2,300万円位となる。これを、常任委員会による審査に変えると、約1/4位になると思われる。(小暮の概算)

表2 予算・決算審査方式の比較

| 方式 | 利点 | 欠点 |
|----------------|-------------|------------|
| 部課長 全員参加 | ①会計全体の質問可 | ④質問内容が浅くなる |
| | ②職員が勉強になる | ⑥職員の負担大 |
| 常任委員会や 款別審査 | | ③重複質問ロス有 |
| | ③質問に良い相乗効果 | ⑤全体の質問不可 |
| | ④質問内容が深くなる | ⑥職員が勉強できない |
| | ⑤職員の負担が軽くなる | ⑦委員会別、款別表示 |



住みよい佐野市をめざして

市議会議員 小暮 博志
佐野市馬門町1597
TEL・FAX (23) 8263
携 帯 090-2679-3021
kogure-hiroshi.com

小暮ひろし市議会報告 (第29号)

第29号の 主な記事

- ・ 議員数、報酬の状況について
- ・ 第11回 佐野市消防操法大会(6月5日)
- ・ 第2回 定例議会(6月3日～17日)

議員数、報酬の状況について

議員数や議員報酬は条例により定められることとなっており、その根拠は地域の実情を考慮して決められている。

今回、その状況の調査を行った結果、密接に關係している状況が見られたので、その状況を示す。

全国人口10万人から20万人の159市における、議員数と報酬の状況は、図1の如くであった。

議員数、報酬、市民の報酬負担額を多変数解析したところ、議員数、報酬、市民の報酬負担額は人口、市の面積を含めた5変数の間で、密接(決定係数0.95)な關係があることが解りました。(図2。詳細は小暮のホームページに記載)

佐野市の現状議員数、報酬は、平均より少ない。

ここで、議員数と報酬を決めるのは、市民と議員の考えによります。

第11回佐野市消防操法大会(6月5日)

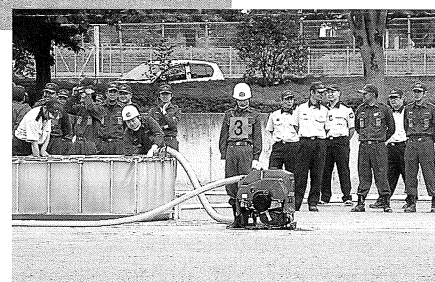
「消しましょう その火その時 その場所で」

第11回佐野市消防操法大会が佐野市田沼グリーンスポーツセンター開催され、ポンプ自動車6台、小型動力ポンプ6台が参加して行われました。

多くの市議会議員も応援するなか、私も、所管となる総務常任委員長として参加しました。

優勝(準優勝)は、ポンプ自動車では第24分団第1班(第14分団第1班)、小型動力ポンプでは第21分団第3班(第6分団第2班)でした。

各分団とも、練習の成果を発揮され、気合いの入った素晴らしい操法を行っており、感激しました。



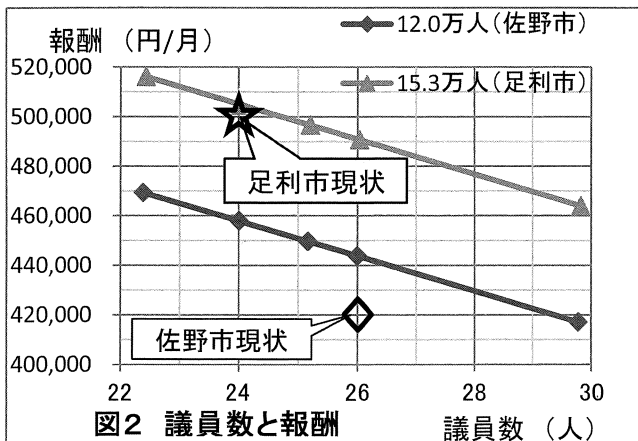
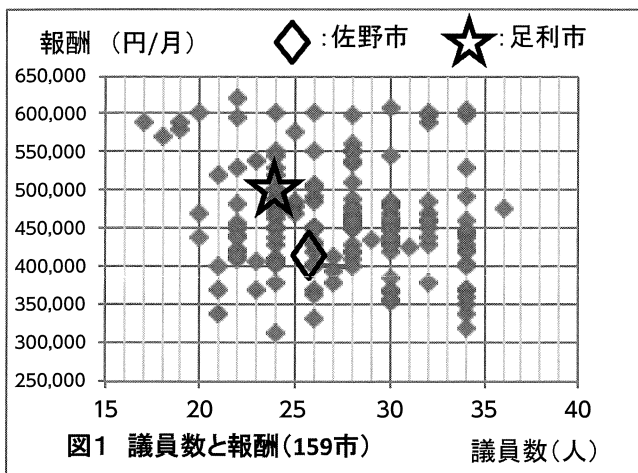
消防操法大会

☆☆☆☆☆☆☆☆



ゴミの収集に参加

- ・ 高萩陸橋付近(6月19日)
- ・ 佐野中央ライオンズクラブ実施



第2回 定例議会(6月5日～19日)

第2回定例議会では、下記の案件が提出。

- (1) 議長、副議長、委員長等の選出
- (2) 報告8件、議案16件、陳情1件の議案
- (3) 一般質問(質問者15名)

(1) 議長、副議長、委員長 等の選出

議長、副議長選挙では、篠原一世氏、若田部治彦氏が、それぞれ17票、23票を獲得して選出されました。

常任委員会及び議会運営委員会の委員も、下記のように決まりました。

小暮博志は、厚生常任委員会の委員長に就任しました。職務に一生懸命励んで行きたいと思います。

- ・議長：篠原一世 (◎委員長 ○副委員長)
- ・副議長：若田部治彦
- ・総務常任委員会：◎本郷淳一 ○久保貴洋、篠原一世、山口 孝、春山敏明、亀山春夫
- ・厚生常任委員会：◎小暮博志 ○青木 伸、若田部治彦、高橋 功、岡村恵子、井川克彦、横田 誠
- ・経済文教常任委員会：◎大川圭吾 ○菅原 達、金子保利、鶴見義明、山菅直己、蓼沼一弘、田所良夫
- ・建設常任委員会：◎鈴木靖宏 ○齋藤 弘、藤倉義雄、飯田昌弘、川嶋嘉一、木村久雄
- ・議会運営委員会：◎井川克彦 ○田所良夫、岡村恵子、小暮博志、鈴木靖宏、青木 伸

(2) 報告8件、議案16件、陳情1件の議案

議案関係の一部を、以下に説明します。

・佐野市佐野インランドポート条例

国際的な貨物物流の効率化により、本市における企業立地の促進及び雇用の創出を図るため、佐野インランドポートを設置する条例。(管理時間や期間、使用料等を制定。)

インランドポート整備事業では、インター産業団地内に、建物や機械設備等が6億2,270万円で平成29年度完成予定。

・佐野インランドポートの指定管理者の指定

茨城県の吉田運送(有)を指定。吉田運送は、平成21年に「内陸デポ(内陸通関物流基地)等による物流の効率化」について茨城県から経営革新計画の承認をうけており、年間約1,500件程度のコンテナを扱っている。

指定管理期間は平成29年度から平成38年度の10年で、限度額7,363万円。3年目から良好な経営を見込んでいる。

・佐野市男女共同参画都市宣言

わたしたちは、性別にかかわらず対等な立場で、家庭、学校、職場、地域などのあらゆる分野に参画し、責任を分かち合い、共に生きるまちをつくりまします。

・監査委員の選任について

山口 孝議員から春山敏明 議員となりました。

・陳情1件は、継続審査。

(川の日を国民の祝日に定めることを求める意見書)



一般質問(小暮ひろし)

(3) 一般質問 ** 小暮ひろし **

(1) 地震に対する対応について

(質問) 思いもよらない地震が頻繁に発生している昨今をどの様に捉え、考えを持っているかを質問。

(答弁) 群馬県南東部の「銚子-柏崎構造線」を震源としたマグネチュード7の地震を想定地震としている。この想定地震に基づく被害想定から、被害予防計画、災害応急対策計画、災害復旧・復興計画を策定している。

今後における防災体制の整備に取り組むとともに、市民の皆様の防災意識の高揚を図り、地域の防災力向上に努めてまいりたいと考えている。

(質問) 家具の転倒防止をすすめることを、どの様に考えているかについて質問。

(答弁) 大地震のときのけがの原因は、30から50パーセントが家具類の転倒や落下によるものとなっている。

今後さまざまな機会を通して、家具の転倒防止の必要性や重要性につままして、積極的に啓蒙を図ってまいりたいと考えている。

(2) 市有施設等の有り方に関する基本方針について

(質問) 今後、人口が減少するなか、公共施設全体の老朽化対策として毎年約55億円、さらに、道路、橋や上下水道のインフラ施設を含めると、1年間当たり約111億円程度の財源確保する必要があるとなっている。[因に、新庁舎本体71.7億円]

他の市でも同じような更新費用となっているのかを質問。

(答弁) 状況は様々ですが、更新費用が高い団体では約144億円、低い団体では約91.8億円であり、本市と同様に将来の更新費用が不足すると試算されている。

(質問) 市有施設等の維持更新を進めるための、今後の歳入確保の想定についてを質問。

(答弁) 不良資産の売却、貸付、国庫補助金などの活用、歳入につながる施策展開や既存事業の見直しなど、必要財源確保に努めていく。